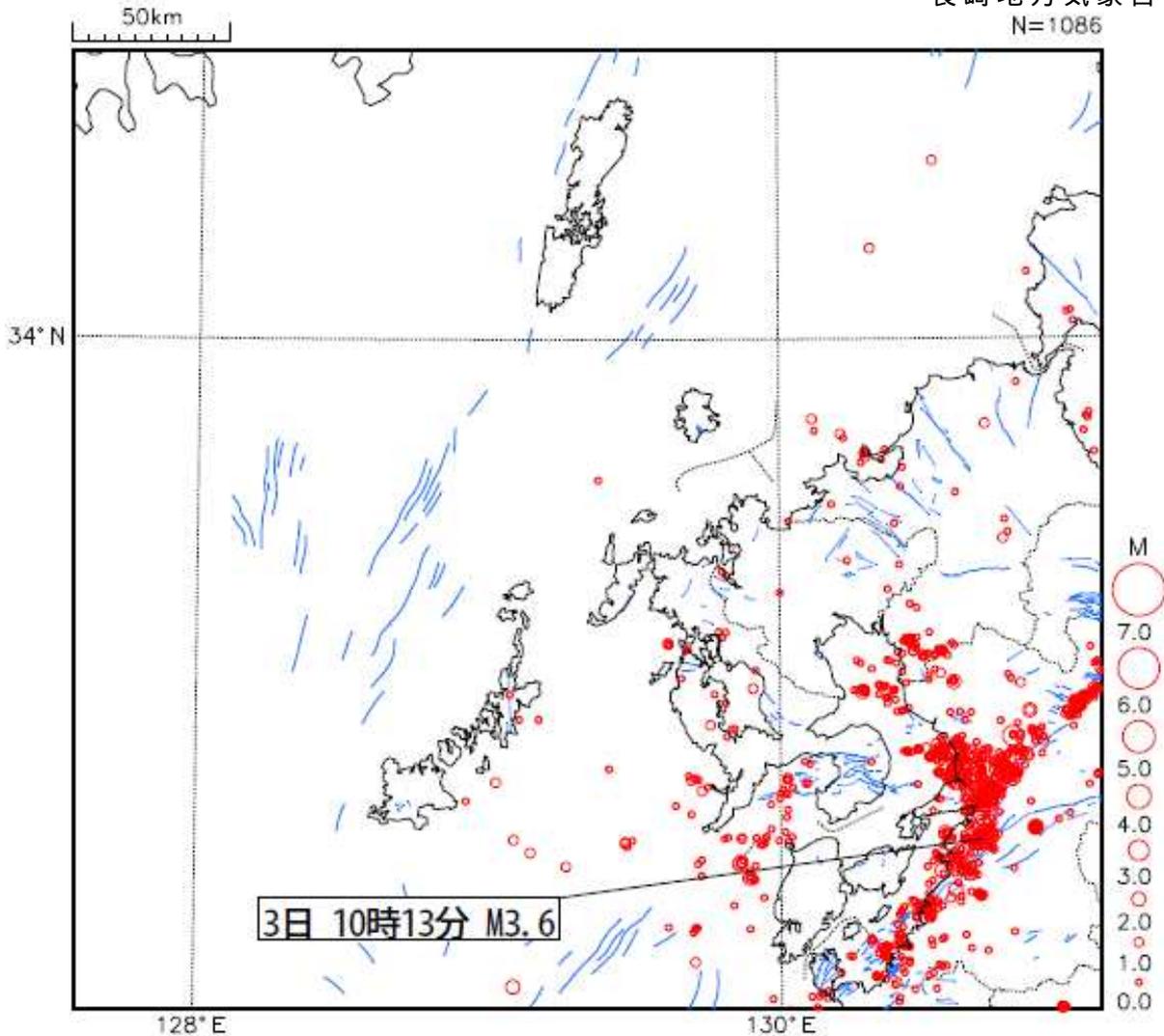


長崎県の地震活動概況 (2018 年 6 月)

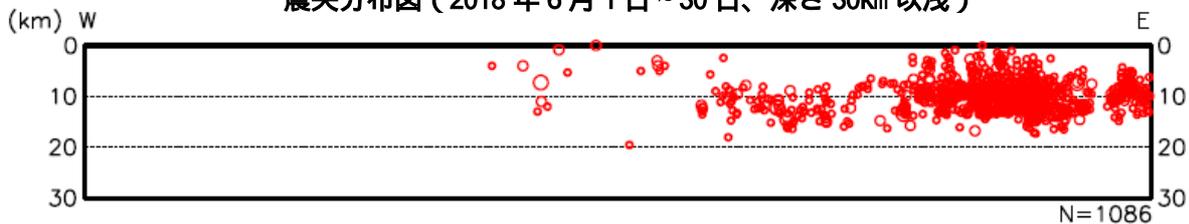
平成 30 年 7 月 9 日

長崎地方気象台

N=1086



震央分布図 (2018 年 6 月 1 日 ~ 30 日、深さ 30km 以浅)



断面図 (2018 年 6 月 1 日 ~ 30 日、深さ 30 km 以浅)
(震央分布図を南の方から見た断面図です)

地震活動の概況 (2018 年 6 月)

6 月に長崎県内で震度 1 以上を観測した地震は 3 回でした (5 月 : 3 回) 。
詳細は次頁以降のとおりです。

本資料の震央分布図の青色のラインは活断層を示す (活断層のデータは新編日本の活断層による) 。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点 (河原、熊野座) 、米国大学間地震学研究連合 (IRIS) の観測点 (台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東) のデータを用いて作成しています。

熊本県熊本地方

3日 10時 13分に熊本県熊本地方で発生した M3.6 の地震（深さ 12km）により、熊本県で震度 2 を観測したほか、熊本県、長崎県、宮崎県、鹿児島県で震度 1 を観測しました。長崎県では雲仙市、南島原市で震度 1 を観測しました（図 1、表 1）。

地震調査研究推進本部によると、熊本県熊本地方（図 2 領域 a）及び阿蘇地方における「平成 28 年（2016 年）熊本地震」の一連の地震活動は、全体として引き続き減衰しつつも継続しており、現状程度の地震活動は当分の間続くと評価されています（図 2、図 3）。

「平成 28 年（2016 年）熊本地震」に関しては、以下の気象庁ホームページを参照ください。

気象庁（熊本地震特設ページ）

http://www.jma.go.jp/jma/menu/h28_kumamoto_jishin_menu.html



6月3日 10時13分 M3.6
図 1 震度分布図（観測点別、×：震央）

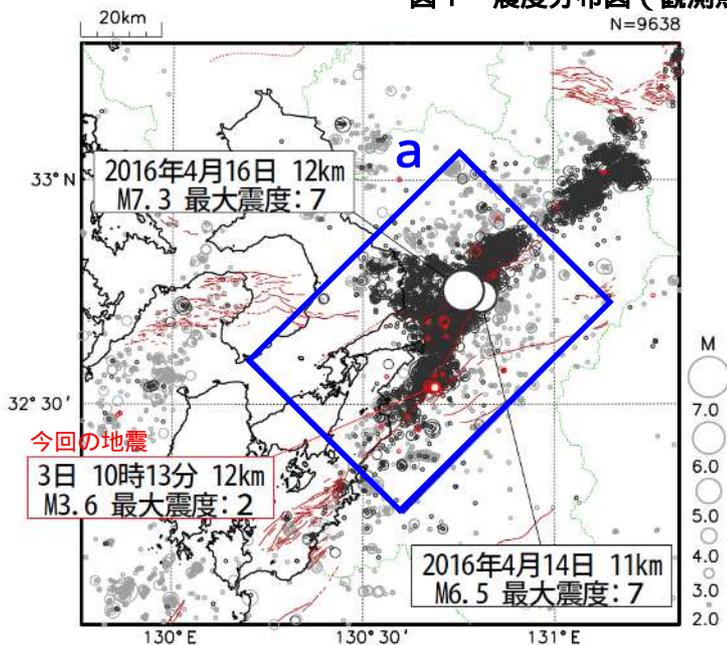


図 2 震央分布図

(1997年 10月 1日～2018年 6月 30日 深さ 0 km～20km M 2.0)

2016年 4月 14日以降の地震を黒で、2018年 6月 1日以降の地震を赤で表示
図中の細線は地震調査研究推進本部の長期評価による活断層を示す

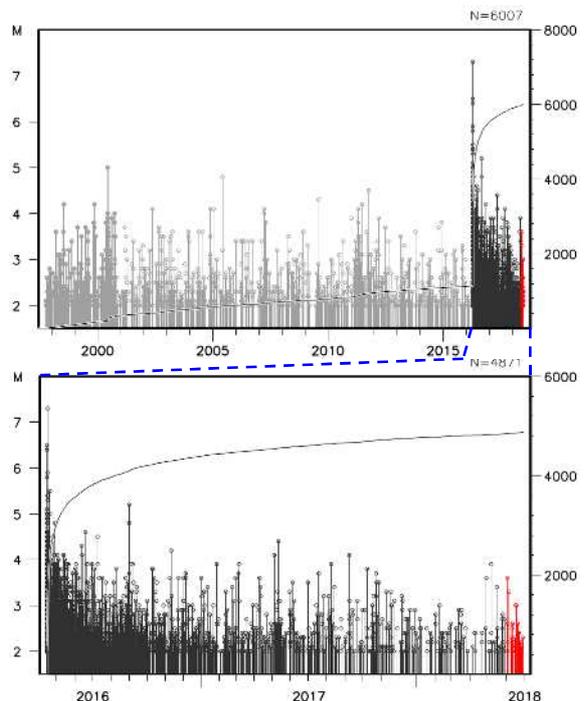


図 3 図 2 領域 a 内の地震活動経過図及び回数積算図
(上段：1997年 10月 1日～2018年 6月 30日、
下段：2016年 4月 14日～2018年 6月 30日)

表 1 この地震により長崎県内で震度 1 以上を観測した地点

No. 1	2018年 6月 3日 10時 13分	熊本県熊本地方	32° 32.3' N 130° 41.2' E	12km	M3.6
長崎県	1	雲仙市小浜町雲仙 南島原市口之津町*			

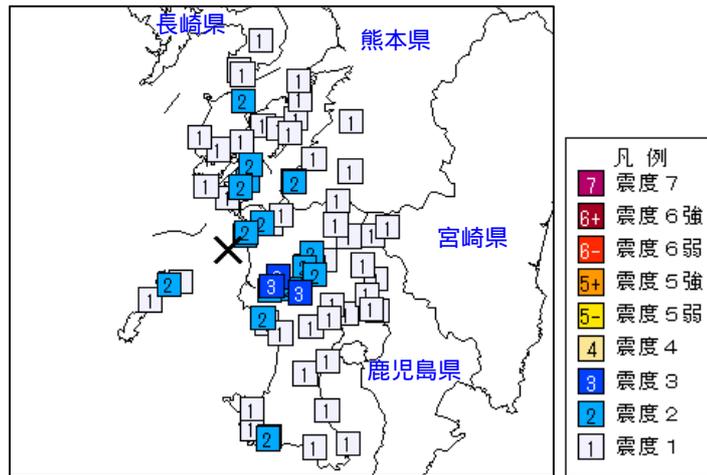
注 1) 震源要素 (緯度・経度・深さ・M) は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注 2) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

天草灘（1頁震央分布図領域外）

3日18時31分に天草灘で発生したM3.9の地震（深さ11km）により、鹿児島県で震度3を観測したほか、熊本県、鹿児島県、長崎県、宮崎県で震度2～1を観測しました。長崎県では雲仙市、南島原市で震度1を観測しました（図4、表2）。

今回の地震の震源付近（図5領域b）で発生した地震により、長崎県内で震度1以上を観測したのは、2005年1月3日に発生したM3.8の地震（深さ10km、最大震度2、長崎県は雲仙市で震度1）以来です（図5、図6）。



6月3日 18時31分 M3.9
図4 震度分布図（観測点別、x：震央）

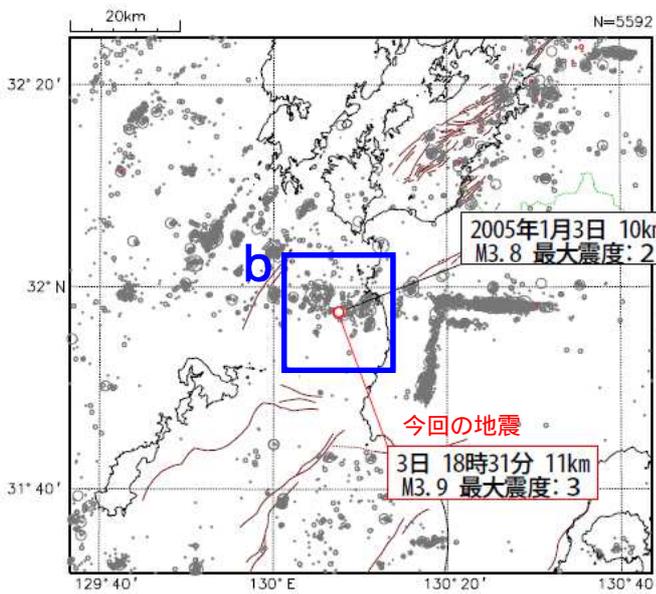


図5 震央分布図

(1997年10月1日～2018年6月30日 深さ0km～30km M 1.5)
2018年6月1日以降の地震を赤で表示

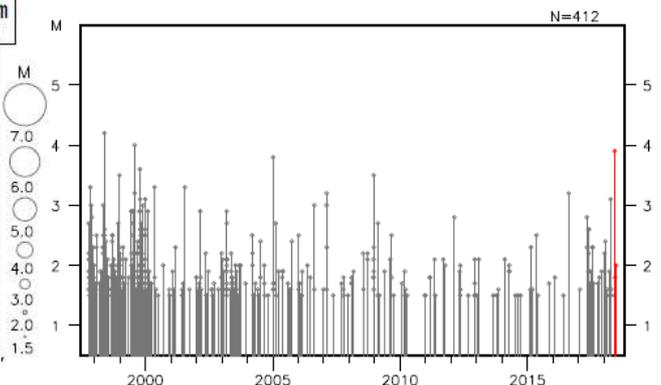


図6 図5領域b内の地震活動経過図

表2 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 2	2018年6月3日18時31分 天草灘	31° 57.5' N 130° 07.5' E 11km M3.9
長崎県	1	雲仙市小浜町雲仙 南島原市口之津町* 南島原市加津佐町*

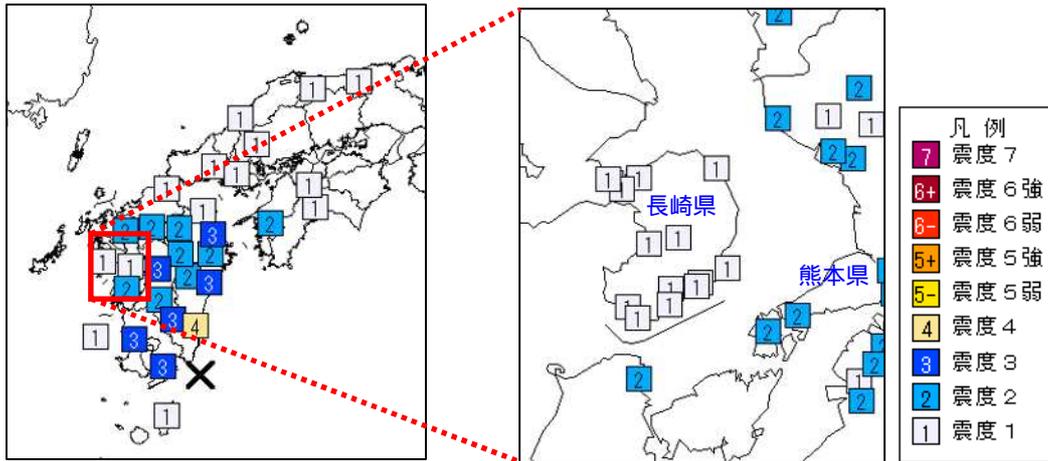
注3) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。

注4) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

大隅半島東方沖（1頁震央分布図領域外）

12日04時54分に大隅半島東方沖で発生したM5.6の地震（深さ28km）により、宮崎県で震度4を観測したほか、九州地方から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測しました。長崎県では諫早市、島原市、雲仙市、南島原市で震度1を観測しました（図7、表3）。

今回の地震の震源付近（図9領域d）で発生した地震により、長崎県内で震度1以上を観測したのは、2005年5月31日に発生したM5.8の地震（深さ29km、最大震度4、長崎県では南島原市で震度2、諫早市、島原市、雲仙市で震度1）以来です（図8～図10）。



6月12日 04時54分 M5.6
図7 震度分布図（左図は地域別、右図は観測点別、×：震央）

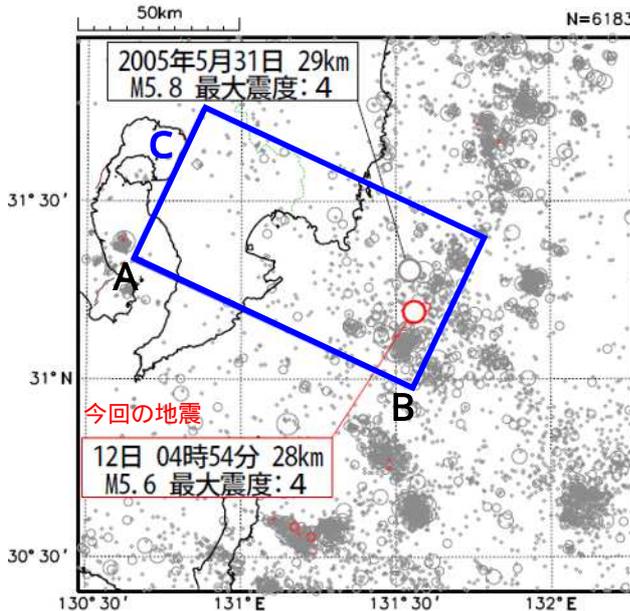


図8 震央分布図
(1997年10月1日～2018年6月30日 深さ0km～90km M 2.0)
2018年6月1日以降の地震を赤で表示

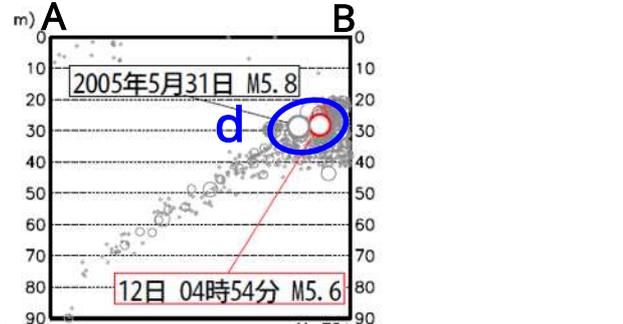


図9 図8領域c内の断面図（A-B投影）

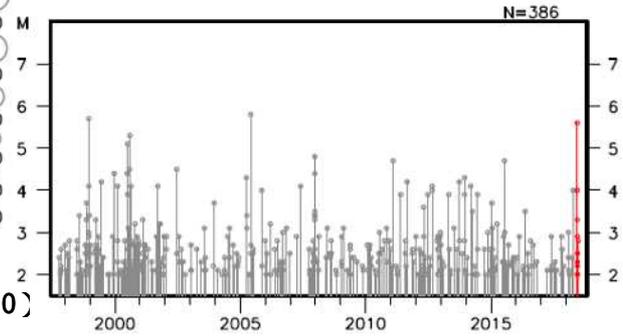


図10 図9領域d内の地震活動経過図

表3 この地震により長崎県内で震度1以上を観測した地点

No. 3	2018年6月12日04時54分 大隅半島東方沖 31°11.3'N 131°33.5'E 28km M5.6		
長崎県	1	諫早市森山町* 島原市有明町* 雲仙市小浜町雲仙 雲仙市愛野町* 雲仙市吾妻町* 雲仙市小浜町北本町* 南島原市口之津町* 南島原市南有馬町* 南島原市北有馬町* 南島原市西有家町* 南島原市布津町* 南島原市加津佐町* 南島原市有家町*	

注5) 震源要素（緯度・経度・深さ・M）は、暫定値であり、データは後日変更されることがあります。
注6) *を付した地点は地方公共団体または国立研究開発法人防災科学技術研究所の震度観測点です。

津波から命を守るためには ～ すぐ避難！ ～

これから海のレジャーシーズンが始まります。魚釣り・海水浴・磯遊びなどで海岸や河口付近にいる場合に地震による揺れを感じたときや、揺れを感じなくても大津波警報・津波警報・津波注意報が発表されたときは、以下のような行動をとることが必要です。

津波のおそれがある時

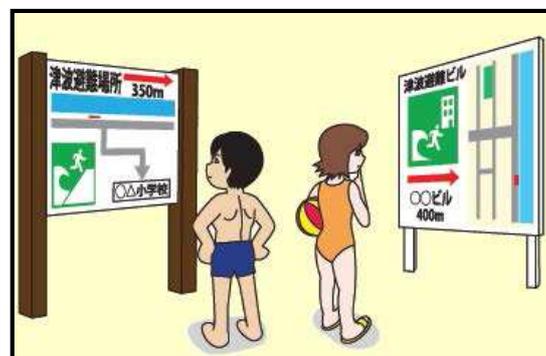
- ・海辺で地震の揺れを感じたら → 津波警報・注意報を待たずにただちに避難！
- ・地震の揺れを感じていなくても
大津波警報・津波警報が発表されたら → ただちに安全な場所に避難！
避難は「より高い所」へ
- ・地震の揺れを感じていなくても
も津波注意報が発表されたら → ただちに海から上がって海岸のそばから離れる！

津波は繰り返し襲ってくるので、大津波警報・津波警報・津波注意報が解除されるまで避難を続けましょう。

海岸・河口付近に来たら

まず、避難場所や避難経路を確認しておきましょう。

ラジオ、スマートフォン、携帯電話、防災行政無線などの情報の入手手段を確認し、そこからの情報に注意しましょう。



津波の標識の例

津波のおそれがある地域には、避難場所や避難経路がわかる標識が設置されているところがあります（標識はJIS規格により制定されています）。



津波注意

津波が起きた場合、津波が来襲する危険のある地域を表示



津波避難場所

津波に対しての安全な避難場所（高台）の情報を表示



津波避難ビル

津波に対しての安全な避難場所（避難できるビル）の情報を表示

なお、気象庁が発表する大津波警報・津波警報・津波注意報、津波予報、津波情報に関しては、以下のホームページをご覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>